

回 覧

C・Sだより

コミュニティ スクール

『東益津小中学校運営協議会』広報

令和 8年 2月 No. 43

みんなで“東益津C・S”を推進しよう

「第3回C・S協議会」：活動の成果と課題

2月18日「第3回C・S協議会」が開催され、5年目の総括と6年目を迎える次年度「活動の柱」が承認されました。



小・中学校の「学校経営状況」について報告があり、安定した学習状況の下で、子どもたちが『お互いに協力しながら課題解決に取り組んでいる』姿などが紹介されました。こうした好状況をふまえて、次年度の「学校経営方針」が示され、承認されました。

意見交換の中で、不登校（傾向）の子どもについての理解や、柔軟で多様な対応について考えを深め合うことができました。

「地域を愛する益津の子」の育成については、『東益津が好き』と答える小学生が9割を越え、『地域の活動に進んで参加しようとしている』と回答する生徒が半数もいる現状を肯定的にとらえ、参加者を増やしていくために、子どもたちが『やってみよう』と意欲がわくような、魅力ある企画を工夫したいものです。

2年目を迎えた「東益津チャレンジ」はマイリスさんの協力も頂き、田植え・稲刈り・餅つき・正月飾り作り等、この地域ならではの活動を通じ、元気な生活を展開しているとの報告がありました。



次年度 活動推進の「3本柱」

「地域を愛する益津の子」の育成を目標に取り組んでいるCS活動を通して、「地域と共にある学校」「学校と共にある地域」が着実に進展しています。成果と課題をふまえ、次年度に取り組みたいと考える「3本柱」を提案し、承認をいただきました。

- ①情報発信の工夫～ CSだよりやHPに加え「インスタ」の活用。
- ②活動のバトンリレー。
- ③CSを通じた「地域づくり」推進。

もっと多くの地域の皆様のご協力を頂き、もっと多くの子どもたちの参加を増やしたいという願いのもと、インスタでCS活動の状況を素早く分かり易くお知らせしたいと思います。

子どもたちと保護者や地域の皆さんと一緒に楽しめるような活動を拡げていきたい。CS活動の推進が、地域づくりの基盤になるようにと願って、これからも取り組んでいきます。

◎ 「山の神まつり」に参加

2月8日（日）、関方地域に古くから伝わる「農耕神事」の「山の神まつり」が行われ、「Jカレッジ」として参加をさせていただきました。当日は日曜日だったので、希望する3年生も一緒に参加しました。寒い日でしたが、みんな元気に活動しました。



山の手会館前の広場で、藁を使った大きな「龍神」作りを見学しました。例年のように、藤ヶ谷さんがくわしく説明をしてくれました。完成してミコシに載せた「龍神」を先頭にした行列の後について、磐座（イワクラ）の下まで見送り、下山しました。

このような、地域に伝わる貴重な文化遺産に直接ふれることはとても大切な学びの機会だと思うのですが、参加人数が少ないことを残念に思います。毎年1月に実施の「山の手ふるさと探訪会」にも、小・中学生の参加が期待されています。

どうしたら改善できるのでしょうか。情報発信や次世代へのバトンリレーの工夫、学校と地域との連携方法など、大切な課題がひそんでいるようです。みんなで考え・取り組みましょう。